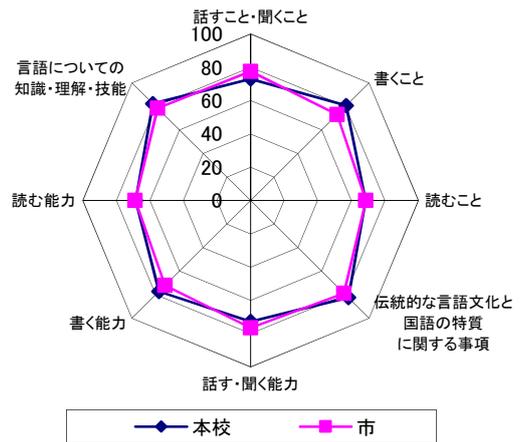


宇都宮市立国本中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	73.0	77.6	76.3
	書くこと	80.7	73.0	56.1
	読むこと	68.6	68.8	63.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	82.4	78.8	71.6
観点別	話す・聞く能力	72.7	76.5	75.4
	書く能力	77.2	72.0	58.1
	読む能力	68.6	68.8	63.9
	言語についての知識・理解・技能	82.3	78.4	70.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

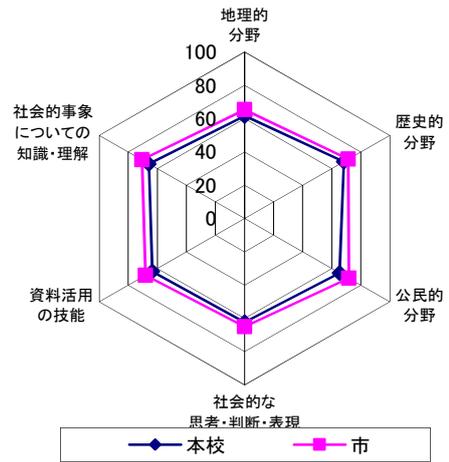
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○司会者の工夫を聞き取る問題では市の平均より0.8ポイント高かった。</p> <p>●特に話の内容を正確に聞き取るが6.7ポイント、聞き手に理解してもらったための話し方の工夫は7ポイント市の平均より低かった</p>	<p>・まず、5W1Hを整理しながら聞き取れるように練習する機会を設ける。また、授業で話し合い活動を積極的に取り入れ、相手の伝えたいことを正しく聞き取るように気を付けさせる。そのうえで自分の意見を述べていけるようにさせたい。意識して話し合うことにより「聞く」「話す」ことのスキルの向上を目指していきたい。</p>
書くこと	<p>○すべての問題で市の平均を上回った。特に文章の内容に沿ったまとめを書く問題は12.9ポイント高かった。指定された文字数で書く問題は12.5ポイント、3段構成で文章を書く問題は11ポイント高かった。</p>	<p>・批評文の単元で、書く、読む等の活動を通し批評文に触れさせた。また、毎時間授業の最後に学んだことや理解不足の点などを各自ノートに書かせたことで書くことに対して慣れてきたことが考えられる。他教科での振り返り活動が増えたことも大きい。今後も書く機会を作って書くことへの意識を高めていきたい。</p>
読むこと	<p>○複数の広告の内容を読み比べ特徴を捉える問題は1.9ポイント、広告の内容の読み取り、整理の問題は6.4ポイント市の平均より高かった。</p> <p>●文章の構成や展開を捉える問題は7.8ポイント市の平均より低かった。心情を問う問題は平均を3～4ポイント上回っており、平均を下回った問題が1題あった。</p>	<p>・授業で読み取り方のポイントは学習しているものの、教材分以外の文章を読むときに習ったことを生かし切れていない。特に漢語の多い説明的文章に苦手意識をもつ生徒は多い。教科書以外でいろいろな分野の文章に触れさせ、味わわせる機会を設けていくとともに言語感覚を磨く機会を増やしていきたい。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○問12問8は市の平均上回った。特に用言についての理解が15.3ポイント高く、規模を漢字に直す問題は17.4ポイント高かった。</p> <p>●類義語・対義語に関する問題の正答率が7.8ポイント低かった。</p>	<p>・新出漢字の練習を定期的に行い、単元テストや定期テスト後に再テストを行い定着を図っていく。</p> <p>・文法に関しては教科書の単元で扱う以外にも、読み取り等で適宜扱ってほしい。</p> <p>・教科書で1時間扱いの多い類義語・対義語・四字熟語なども文章を読む折に話題にし、興味関心を高めていきたい。</p>

宇都宮市立国本中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	61.7	65.4	52.7
	歴史的分野	68.3	71.3	64.1
	公民的分野	65.5	71.8	68.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	62.2	64.9	53.5
	資料活用の技能	63.5	68.0	57.3
	社会的事象についての知識・理解	65.8	70.6	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

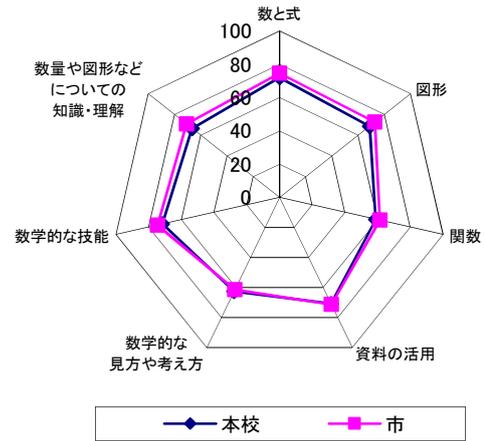
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○世界の姿の正答率は、市の平均を超えており十分に理解できている。 ●地理分野は全体的に正答率が市の平均を下回っており、特に世界と比べた日本の地域的特色では、全国平均を下回った問題もあった。	地図の読み取りなど、基礎的な内容から理解していない生徒が多いので、時間をかけて基礎を身につけさせたい。 資料読み取りの理解が低いので、普段の授業から資料を多く活用した授業を行っていきたい。
歴史的分野	○近代の日本と世界の正答率は、市の平均を超えたものがあつた。 ●近代の日本に比べると、古代までの日本の正答率は全国平均を下回るものもあり、苦手な面がみられた。	近代の日本については、生徒が興味をもつ範囲なので、理解が高かったが、古代までの日本については理解が曖昧な生徒が多いので、その時代の特色、特に日本と諸外国との関係を重点的に確認させたい。
公民的分野	○現代の民主政治と社会の正答率は、市の平均を超えたものがあつた。 ●憲法改正の手続きについては、大幅に市の平均を下回ってしまっている。	憲法改正の手続きについては、大まかには理解しているが、しっかりと理解していない結果がでてしまった。 公民分野でも、事象がどのように関連しているのか、そしてそれを自分の言葉で説明できるような活動を授業に取り入れたい。

宇都宮市立国本中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	72.1	74.7	72.4
	図形	68.8	72.7	62.3
	関数	58.8	61.3	52.1
	資料の活用	70.7	71.3	55.6
観点別	数学的な見方や考え方	62.6	61.4	45.2
	数学的な技能	71.7	74.6	69.7
	数量や図形などについての知識・理解	66.6	70.8	61.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

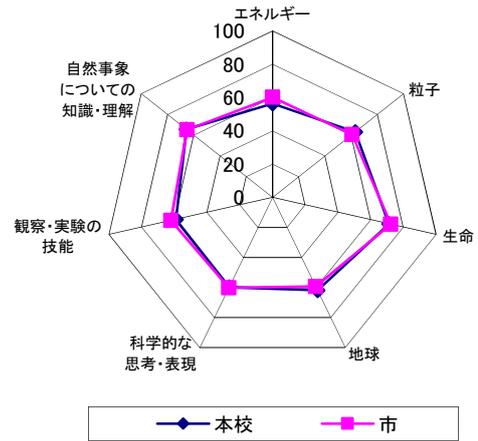
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○数学的な見方・考え方を観点とした二次方程式の意味を読み取る問題を78%が解くことができている。 ●平方根の乗法がほぼ定着している反面、有理化の正答率が低いのは、用語の意味と本来の原理が分かっていないためと考えられる。	・引き続き基礎的・基本的事項の反復練習を重ねるとともに、工夫して効率よく解く方法を考えさせたり、紹介したりする。 ・文の読み方(場面の把握、何を求めるのか)、表や図を利用した条件の整理の仕方に気をつけさせ、文章問題の意味がとらえられるようにする。
図形	○相似条件の内容は理解されている。 ●内角の和から、何角形の多角形かを判断する問題では、多角形から内角の和を求める通常と逆の設問のためか、正答率が低い。	・作図については、合同や相似、円などの単元で作図が扱われる際に復習する。 ・多角形と内角や外角の関係では、図と式を関連させた見方をおさえた上で、一般化を図るようにする。 ・工夫して解決しようとする態度は育ちつつあるので、多様な見方や考え方に触れさせ、新たな方法を試す練習問題を解くようにさせる。
関数	○3年生で学習した関数については、座標を求める問題の正答率が市の平均を上まわった。授業で強調した「分かっている座標をグラフの式に代入する」ことができるようになってきた。 ● x の2乗に比例する関数で、与えられた条件をグラフ上で活用することができていない。 ●式を表す問題の中で、1次関数が特に弱い。	・各学年で学習する関数の特徴を表、式、グラフを用いて比較し、言葉や表にまとめると同時に、用語の意味をおさえる活動を重視する。 ・苦手な生徒には、座標平面上に点をとったり、グラフを書いたりする具体的な活動を大切にさせ、実感を伴わせるようにする。
資料の活用	○身近な事象に関する組み合わせを判断する問題が90%の正答率であり、数学的な見方・考え方の向上につながっている。 ●1年次の相対度数を求めることができておらず、他の用語の意味も定着していないと考えられる。	・標本調査の単元内で、母集団の推測と相対度数を関連させて扱う。 ・国語の小論文でも、グラフを比較して意見を述べる題材があることから、1年次で、代表値(平均値、中央値、最頻値)をもとに比較する際の観点を明確にしたり、傾向を把握したりすることに慣れさせる。

宇都宮市立国本中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	56.4	60.2	57.6
	粒子	63.1	60.6	55.1
	生命	71.3	72.3	63.6
	地球	61.8	59.3	50.4
観点別	科学的な思考・表現	59.7	60.2	57.3
	観察・実験の技能	59.0	62.1	57.5
	自然事象についての知識・理解	65.6	65.2	57.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

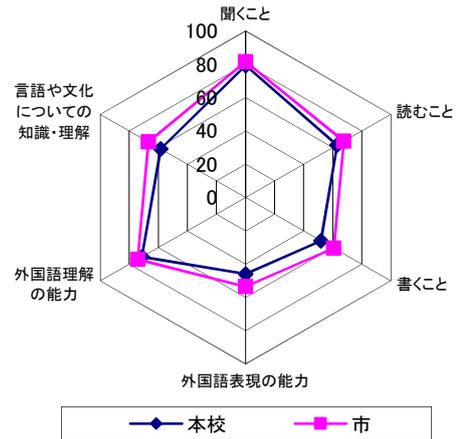
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	<p>○力と圧力についての正答率は市の平均と大差はなく、十分理解されている。</p> <p>●電気と磁界は全国的にも理解度は低く、本校は市の平均よりも低い正答率である。</p> <p>●運動については全国・市の平均よりも正答率が低い状況である。</p>	<p>エネルギーの分野は、目では見えない現象や概念が多い。必要に応じてICTを用いるなどして現象や概念について正しく理解させたい。また、計算に対して苦手意識をもつ生徒も多いため、問題演習を通して、克服させたい。</p>
粒子	<p>○化学変化の内容についてはすべて市の平均を上回っている。</p> <p>○中和反応について、市の平均を上回っている。</p> <p>●気体の発生と性質については市の平均よりも正答率が低い。</p> <p>○実験結果から考える設問に対するの正答率が高い。</p>	<p>実験操作に対する理解度が高くないので、実験を行う際の注意点や、その理由を強調して説明し、理解度を高めたい。</p> <p>また、実験で確認できた現象について模式図などを通して表す問題については理解度が低いので、グラフィカルアブストラクトなど、自分で図を用いて現象を表すといった活動を授業に取り入れていきたい。</p>
生命	<p>○植物のからだのつくりとはたらきについての正答率は市・全国の平均を上回っている。</p> <p>●生物と細胞についての正答率は、市の平均よりもすべて下回っている。</p> <p>○遺伝の規則性と遺伝子の正答率は、市・全国の平均を上回っている。</p>	<p>高い正答率からもうかがえるが、授業を通して、生命の分野に対する意欲が非常に高いことがわかる。調べ学習を取り入れたり、自由度をもった観察を行ったりしてその意欲を満たすような授業を展開したい。</p> <p>特に、生物と細胞についての問題については点数が低かった。細胞分裂のようすなど、より丁寧に確認するとともに、問題演習を通して学習を定着させたい。</p>
地球	<p>○全体の点数は市や全国の平均を上回っている。</p> <p>○雲のでき方と水蒸気については市や全国の平均を上回っている。</p> <p>●過去の火山の噴火について読みとる問題では市の平均を下回っている。</p>	<p>全体的に地球の分野についての理解度は高いといえる。特に実際に実験や映像を利用して確認した内容については高い理解度を示している。</p> <p>柱状図についてどのように読み取るのかなど、授業中に問題演習し、より多くの問題を解けるようにしたい。</p>

宇都宮市立国本中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	79.3	81.7	75.3
	読むこと	63.0	67.7	62.9
	書くこと	51.9	60.7	52.8
観点別	外国語表現の能力	45.9	53.5	44.8
	外国語理解の能力	71.3	74.2	67.8
	言語や文化についての知識・理解	58.3	66.8	63.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>○英文の要点を聞き取る問題では、所属についての問題で市より2.5ポイント高い96.7%、日程についての問題で市より4.8ポイント高い78.5%の正答率となっている。</p> <p>●全体として市全体の平均を下回り、平均正答率が2.4ポイント低くなっている。</p>	<p>・デジタル教科書を活用したり、ALTとの会話を増やし、英語を聞くことに慣れさせるようにする。また、大きさを比較する場面について聞き取る練習をする。</p>
読むこと	<p>○対話の流れとグラフから、適切な発言を判断する問題では、市の平均とほぼ同様に82%を超える正答率である。</p> <p>●全体として市全体の平均を下回り、平均正答率が4.7ポイント低くなっている。</p>	<p>・語形・語法を理解する問題で、as～asを使った比較の問題ができていないので、比較に関する問題を練習する必要がある。</p> <p>また、資料や条件を読み取る問題にも多く取り組ませていく。</p>
書くこと	<p>○自分の行ってみたい場所について、まとめた内容で説明する文を書く問題では、市の平均には及ばないが70%近い正答率である。</p> <p>●全体として市全体の平均を下回り、平均正答率が8.8ポイント低くなっている。</p>	<p>・単語の並べかえによる英作文で、特に継続を表す現在完了の文を復習する。また、語彙力を上げるために、単語の復習をこまめにするようにする。</p>